

# 出動! WG特捜隊

## ① 教頭の責任を「PTAの不正」と報じた『朝日新聞』のズサン記事に名門小学校父兄が不買運動



謝礼40万円を不正に使っていたという記事が報じた。学校名は伏せているが、読む人が全文を読めば、すぐに佃島小だと特定できると前出のPTA役員が怒る。「委託謝礼金の口座を実際に管理していたのは、PTAではなく教頭(副校長)です。つまり使い込みをしたのは、'99年~'04年当時の2名の教頭なんです。すでにこの件は、両名の前教頭が事実を認め、本人から返金が行なわれています。なのに、今さらPTAが不正をしたと書かれているんです」朝日にも、「謝礼の管理は、2人の元副校長が担当していた」と書いてある。なぜ、PTAの不正になるのか。朝日から取材を受けた区教委はこう答える。

「あの記事を読んで、すぐに朝日新聞本社に抗議電話をかけて、販売所には購読を止めると告げました」と語るのは、東京都中央区立佃島小学校のPTA役員。佃島小は、中学受験専門誌『プレジデントファミリー』のランキングで、「東京23区別お金持ちが住む公立学校」第2位。半数以上の子どもが有名中学を受験する名門小学校だ。その父兄を「横領犯人」に仕立てるような記事を『朝日新聞』が書いたのだという。問題の記事は、朝日新聞6月28日夕刊22面の「校庭開放の委託謝礼金 先払い、返却せず」というもの。この委託謝礼金とは校庭開放日に、事故などの緊急時に備えて子供を見守る「指導員」への謝礼だ。中央区教育委員会では、謝礼金をPTA会長の謝礼金専用口座に先払いしていた。これについて『朝日』が、「東京都中央区立のある小学校では、PTAが区教委から受け取った指導員への謝礼40万円を不正に使っていた」と報じたのだ。学校名は伏せているが、読む人が全文を読めば、すぐに佃島小だと特定できると前出のPTA役員が怒る。「委託謝礼金の口座を実際に管理していたのは、PTAではなく教頭(副校長)です。つまり使い込みをしたのは、'99年~'04年当時の2名の教頭なんです。すでにこの件は、両名の前教頭が事実を認め、本人から返金が行なわれています。なのに、今さらPTAが不正をしたと書かれているんです」朝日にも、「謝礼の管理は、2人の元副校長が担当していた」と書いてある。なぜ、PTAの不正になるのか。朝日から取材を受けた区教委はこう答える。

「教頭もPTAの一員ですから、事実関係に間違いはないのではないでしょう」か(小池正男事務局次長)確かにPTAとは親と教師で構成され、前教頭もPTA会費を払っていた。だが、それは詭弁だろう。「一般の人は、PTAとは児童の親のことだと思いが普通。『朝日』に悪意を感じるの、その辺を曖昧に書いています。心配なのは、子どもたちへのいじめが再び起こることです」(別の現PTA役員)1年前、この委託謝礼金不正が発覚したとき、まず教頭ではなくPTA役員に疑惑が向けられた。PTA役員の子どもたちがいじめられるという事件が起きた。そのためPTAが、会計を調べ上げて、教頭の不正を明らかにしたのだ。朝日新聞に取材の経緯の説明を求めたが、「記事は、当該小学校を管理・監修する立場である区教委の客観

的な調査結果などをもとに取材しました(略)」と曖昧な回答をするのみだった。朝日は学校やPTA会長に取材をしていない。教員をかばう区教委の言い分に乘って記事をまとめたのだ。「親たちの間で、何人も朝日を解約しています。この動きは今後、広がりますよ」(冒頭のPTA役員)こんなズサンな記事を載せた朝日の見識を疑う。

(取材・文 椎名玲)